

愛隣館研修センターニュース

第57号

〒612-8141 京都市伏見区向島二ノ丸町151 2F TEL 075-621-3849 FAX 075-621-1579

E-mail : Dayservicecenter.Airin@ma2.seikyoku.ne.jp 振替 01020-5-39321

編集発行所：社会福祉法人イエス団 愛隣館研修センター 発行責任者：平田 義

「シサム」です!

重症心身障がい者通所事業（B型）「シサム」が、始まって約8ヶ月が過ぎました。「シサム」とは、アイヌの人たちが初めてあった和人（日本人）を“シサム”と呼んで暖かく歓待をしたことから、私たち「あなたの隣人を愛せよ」との聖書の言葉を実践する者として、利用者一人一人を隣人として暖かくお迎えをしたいとの思いから名付けられました。「シサム」は重症心身障がい者が、日中楽しく豊かに過ごせる「場」を提供することを課題とし、以下の基本方針をもって日々充実した物となるよう努力しております。

- 1: どのような障がい（特性）を持っていようとも一人一人の命の輝きに差異はないということ
- 2: 障がいを持つ人が主体であることを念頭におき、利用者の意思や自己表現を大切に日常生活の支援を行ないます
- 3: 地域のいろいろな人たちとの関わりを大切に、積極的な社会参加を目指します

今回はこの8ヶ月間に起こった様々な出来事をセンターニュースの場を借りて報告させていただきます

重症心身障がい者って？

「シサム」に来ている利用者は重い障がいを持っている人たちです。医療的ケア（生活介助の一部として、日常的に行われているケア。痰の吸引・経鼻注入・胃ろう等）が常時必要な人もいます。

生活を共にしていると、彼らの『生きる強さ』をいつも感じさせてくれるのです。楽しいことには素直に笑い喜び、嫌なことには素直に泣いて怒って。自分のできうる方法で、自分の“気持ち”や“要求”を精一杯伝えてくれます。時には、何を考えているのか、何を訴えているのかスタッフが汲み取りきれないこともあります。これからじっくり彼らから教わっていきたいと思います。



日々の活動

次に、「シサム」での活動の様子を書いてみようと思います。

「シサム」では、朝、到着するとまずバイタルチェック（脈拍、呼吸数、体温）、身体のゆるめ（身体の緊張を解くことで呼吸や心のリラックスを促します）、水分補給が行われます。終了後はレクリエーションを楽しみます。

昼食



そして、昼食。きざみ食、ミキサー食、エンシュア（栄養剤）の経管注入等と、個人に合わせた食事の形態があります。ペロリと食べる人、少し時間をかけて食べる人と様々ですが、楽しい雰囲気の中で食べています。

午後のひととき

午後からは、デイサービスの利用者さんたちとゲームで盛り上がりたり、散歩、絵本読み、音楽遊び、製作、プール（夏季限定ですが）などの活動をしています。その他にみんなで集まって行う活動もあります（クッキング、七宝焼き、お誕生会、お出かけなど）。

地域との交わり

「シサム」では地域の人たちとの関わりを大切にしています。特に散歩に出かけたときには、多くの人たちと出会います。そこで、自己紹介を載せた手作り名刺を渡し、会話を交わしたり楽しいひと時を過ごします。



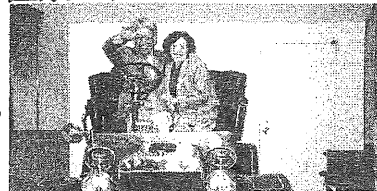
このような出会いが“障がい”という個性を大切にできる輪の広がりとなることを願っています。皆さんも私たちを見かけたら、是非声をかけてくださいネ。（井桁・丸山）

Topics

一泊旅行 in犬山

去る10月29日、30日。恒例のデイサービス一泊旅行に、利用者・スタッフ総勢36名でいって参りました。行き先は木曾川のほとり、犬山城で有名?な**犬山温泉**です。

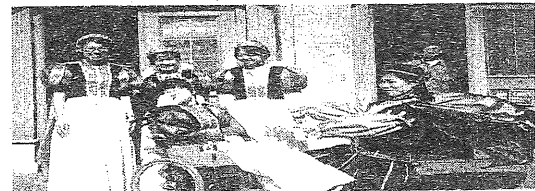
まずは、数々の名車展示で名高い「**トヨタ博物館**」へ。
見たこともないクラシックカーから、「わし、これ乗ってた!」という大衆車まで120台がお出迎え。
又、乗ってはいけない展示車に
ちゃっかり乗り込(まされ)み記念撮影する人も。



そんなこんなで、今年のお宿「**名鉄犬山ホテル**」に到着です。
今年のウリはなんとといっても**露天風呂**(キツイー)。
初参加のU君も、パンチの効いた入浴にご満悦?といった顔でした。
風呂が済めばメシ。所長Hのお誕生会も兼ね、飲めや、歌えや、
例年以上の盛り上がりを見せていました。

翌日は、世界の民家が移築・復元された「**リトルワールド**」へ。
しかし、その展示のコンセプト、表現の仕方は差別的で偏見に満ちた内容。こんなモノをそのまま鵜呑みにしないで、それぞれの民族の持つ豊かな文化を理解しようと、参加者一同で確認し合い、いざ出動。

ドイツで麦酒、フランスでワインを飲みまくる人。
民族衣装に身を包み記念撮影を楽しむ人。
ワニラーメンに舌鼓をうつ人!?



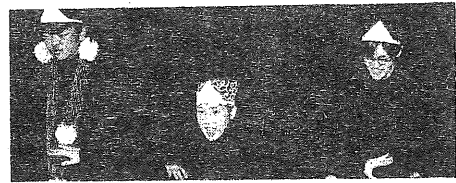
と各人各様に秋のひとときを堪能できた様子。

支援費になった来年以降、一泊旅行どうなっちゃうんでしょうかねー? (恵)

向島にっこりフェスティバル終了

11月24日(日)にっこりフェスティバルが開催されました。
おかげさまで晴天に恵まれ、とてもたくさんの方にご来場頂きました。

▼**激安バザー**は子どもも迷子になるほどの大盛況、



2Fホールでは**バルーンアート**▲ や本格的演劇「**じごくのそうべえ**」▲
が行われ、普段は暴れん坊の子どもたちも、食い入るように見つめていました。

また、駐車スペースでは多くの協力団体による**模擬店やコンサート**▼も行われ、



ラストは恒例▲「**大ピンゴ大会**」、参加者に圧倒されながら幕を閉じました。

ご来場頂ければお分かりかと思いますが、収益金などは微々たるものです。しかし、向島地域にあるこの施設を一人でも多くの方々に知っていただくため、そしてこの施設の働きを一人でも多くの方々に理解して頂くため、また来年もがんばりたいと思います。ありがとうございました。(森)

ピラ情宣活動 (11.30・12.1)

去る11月30日と12月1日の2日間、伏見区の手筋商店街に於いて、「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律(案)」(以下「医療観察法案」)を廃案に追い込むべく、ピラ情宣活動を展開しました。

総勢約40名の動員で、ピラ4000枚をまききることができました。

ピラを受け取る方々の反応もよく、この法案の問題が少しずつ浸透してきている手応えを感じました。まだまだ予断を許さない状況ですので、今後も廃案されるまで、粘り強く闘い続けていきたいと思います。

「医療観察法案」についての学習会 (10.27)

その、抗議行動に先立って、去る10月27日に、京都精神障がい者の人権を守る会とバリアフリーネットワークの共催で「医療観察法案」についての学習会が、ウエノ診療所の高木俊介医師をお迎えして開かれました。この法案がもつ、問題点をわかりやすく説明をしていただき、参加された方々は少なかったですが、大変有意義な学びの時となりました。

2002年10.11.12月の活動

10/1	支援センター「あいりん」スタート	デイビス開設から早10年、未だ多くのニーズが眠っていることに気づかされる毎日です。主任相談員に毎晩女性からのラブコールを受けているO氏新しく相談員に無断外泊常習のF氏、そのお目付役にM氏がそれぞれ就任！
10/17	デイビス連絡協議会	京都市からの支援費についての説明。うーん、大丈夫かいな支援費制度！
10/21	生活支援連絡会	むっちゃやる気のある事業所が集まって会議をしています。どこが入ってるのかわかりたい方はRなんのS氏まで！750万かぁ！いいなあ！
10/22	京都市地域支援連絡会	京都市内でレスパイトサービスを実施しているグループが集まって会議をしています。事業所によって形態はまちまち。がんばるとこもあれば、がんばらへんとも…でも市からの補助金は同じ200万円…???
11/13	京都市地域支援連絡会	京都市と話し合いをしました。N会A氏「支援費制度以降のレスパイト事業について京都市はどう考えているのか!?!」京都市「何も考えてましょ〜ん!」
11/28	ニラ・パシオさん(KKFD)フェアウェルパーティ	支援費移行でお忙しいようで、はい！そんなんでエエのんかぁあぁ！SIEA 7/18 研修は彼女あってこそというくらいお世話になりっぱなしです。3種類の鍋に舌鼓み！ニラさんのおみやげに土鍋をプレゼントしました。あー重たあ！

ありがとういさあさん

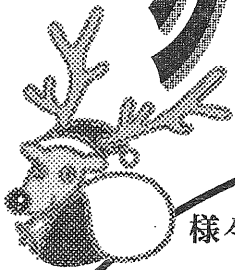
豊かな個性と、人情味あふれる仕草や抜き打ちで見せてくださる愛嬌のある笑顔で、いつも私たちの心を和ませてくださっていた木村勲さんが、2002年11月25日未明、61歳の生涯を閉じられ、天国に召されました。

にっこりフェイスではおつれあいさんと共に笑顔を振り撒いてくださっていただけに、こんなに大きな別れがやってくることは誰もが考え得ないことで、スタッフ一同、悲しみを隠すことはできません。

勲さんと一緒に歩ませていただいた今日までを大切に胸に抱き、スタッフ一同励みにし、歩んでいきたいと思います。勲さん、素敵な思い出をたくさん残して下さいありがとうございます。心よりご冥福をお祈りいたします。



クリスマス献金のお願い



日頃は、当センターの活動をご理解頂き、様々な形でご支援を賜りまして誠にありがとうございます。

当センターでは、障がい児・者とその家族とが地域で生き生きと安心して暮らしていくために、様々な活動を展開してきております。1990年の「生活センター設立準備会」から始まり、障がい者デイサービス事業の「愛隣デイサービスセンター」が1993年に、また、1999年には「向島障がい者地域生活支援センター『遊隣』」が設立されました。お金や制度がない中でも、障がい児・者とその家族とが、地域で自らの尊厳が守られて生きていきたいという切実な思いに微力ながら応えてきました。それが続けられたのも、ひとえに皆さま方からの暖かいご支援とご協力のたまものであると感謝いたします。

これから社会福祉制度が大きく変わっていくとも、障がいを持つ人のみならず、すべての人が大事にされる社会を目指して歩んでいきたいと願っております。その実現のために、今年度も「愛隣館研修センター・クリスマス献金」にご協力頂きますよう、改めてお願いを申し上げます。ご次第でございます。

クリスマス献金、目標金額

1, 000, 000 円 ※ 口数、金額ともに任意です。

送金方法

※ 以下の口座をご利用ください。

郵便振替

01020-5-39321

口座名：社会福祉法人イエス団 愛隣館研修センター



☆お知らせ☆

▽愛隣館研修センターは、十二月二十九日～一月五日まで冬期休館日とさせていただきます。

▽来る十二月二十三日に、愛隣デイサービスセンターにて「障がい者地域生活支援センター『遊隣』主催のクリスマス会が行われます。午後二時より

★編集後記★

▽今年度も何となくこの編集後記の欄の有効活用方を提案下さい。少くも多動をお知らせする機会が増える事を願います。(さ)

▼先日、3面に既報のように、木村勲さんが急逝されました。本当にいたる会いではないかと感じています。言葉では言い表せられないほど悲しみが襲ってきまして、残さが残さぬように、神様に祈ります。ご家族の御心を代わって、ご下さいます。お過